

APRICOT2025 / APNIC59

参加報告

長崎県立大学院 後藤汰珠

2025/06/24

目次

1. 自己紹介
2. APRICOT2025について
3. 参加目的
4. 参加セッション
5. 印象に残ったセッション
6. 得られた経験と今後への活用
7. 参加支援プログラムに関する所感

自己紹介

➤ 名前

- 後藤汰珠

➤ 所属

- 長崎県立大学院
情報セキュリティコース 1年

➤ ひとこと

- 楽しい時間を過ごすことができました。同時に貴重な経験や考えさせられることも多くありました。



APRICOT2025について

➤ 開催地

- マレーシア(Petaling Jaya)
 - M World Hotel Petaling Jaya

➤ 開催日

- 2025/2/19 ~ 2025/2/27
 - 参加日は 23~27

➤ 概要

- ホストはMyNOG
- インターネットの技術や倫理的な課題について議論する場
 - 今回は主にWHOISプライバシーに関する議題を取り扱う



参加・応募動機

- **雰囲気 の 把握 と 人 と の つ な が り を 作 る**
 - 日本 の インターネットカンファレンス と の 違 い を 知 る
 - 海 外 で 活 動 す る エンジニア と 交 流 を 深 め る
 - 文 化 な ど の 違 い を 学 ぶ
- **ネットワークセキュリティに関する技術的な学びを得る**
 - RPKIに関する導入事例の調査
- **セッションに登壇し、英語での発表経験を積む**
 - 今後の英語を用いた技術発表への練習

参加セッション

- **APRICOT Fellows Skills Workshop**
- Opening Ceremony and Plenary
- **APRICOT Plenary**
- Opening Social
- APRICOT Peering Forum 1
- **APRICOT Peering Forum 2**
- APRICOT Peering Social
- **Lightning Talks**
- Closing Plenary
- Closing Social
- APNIC AGM 3

APRICOT Fellows Skills Workshop

➤ APRICOT初心者講習

- 英語を用いたコミュニケーションの方法論
- 英語を用いたコミュニケーションの実践
- APRICOTへの心構え的なもの
- 英語が得意ではなかったが、様々な方法でコミュニケーションを図ることができた



APRICOT Plenary Telekom Malaysia RPKI Deployment

- **RPKIの導入事例**
 - 導入までのワークフロー
 - 計画からリリースまでの時系列
 - 導入したValidatorの構成
- **RPKI導入時の課題**
 - ルータ側の仕様について
 - timer値の範囲や挙動
 - Validatorとの接続時検証



APRICOT Peering Forum

➤ 日本のIXP開催のPeeringイベントとの違い

- ISPは日本と比較し、少ない
- DC事業者が登壇している
- よりビジネスに特化している

➤ 登壇

- University of Nagasakiとして自ASの紹介を行った



Lightning Talks

➤ 登壇

- 「JANOG55 バックボーンチームのバックボーンについて」
- 約8分程度
- 公の場で長い時間英語で話す経験を積むことができた

➤ 感想

- カンペ有ではあるものの最後まで綺麗に話せた...はず
 - 真に伝えたいことが伝わったかは分からない
- 学ぶことが多く良い経験になった



得られた経験と今後への活用

➤ 雰囲気への把握と人とのつながりを作る

- APRICOTの空気感を知る
 - 思っていた以上にラフな雰囲気だった
 - 改めてJANOGの規模感に驚かされる
- 海外で活動をする多くの方とつながりを持つ
 - SNS経由で連絡先の交換や、名刺の交換
- 今後様々なカンファレンスに参加する際の参考とするほか、得られたつながりを用いて多くのコミュニティ活動に従事したい

得られた経験と今後への活用

➤ ネットワークセキュリティに関する技術的な学びを得る

- Telekom MalaysiaのRPKIに関するセッションでは多くの学びを得られた
 - 特に計画から実装までの話は今後RPKIの普及をしていくうえで一つの指標になるのではないか(テスト終了までで約2~3年)
- 今後はそれらを活用し、より高度で実践的な研究をすすめ、RPKI及びネットワークセキュリティに貢献したい

得られた経験と今後への活用

➤ セッションに登壇し、英語での発表経験を積む

- Peering Forum及びLightning Talks を通じて英語を用いた登壇やそこに至るまでの準備や流れの経験を得ることができた
- 英語力は無くても最低限コミュニケーションは取れる
 - しかし、より高度なコミュニケーションを取りたいのであれば必要だと深く認識させられる
- 今後英語を用いた発表を行う際の糧となった。引き続き様々なコミュニティで情報発信をしていきたい

参加支援プログラムに関する所感

- カンファレンスを通じて普段の学習では学ぶ機会のない多くのことを学ぶことができた
 - このような大きな学びが得られる場にサポート付きでいける機会はとても貴重でありがたい
 - 一番ハードルが高いのは初めの一歩。今後後輩などの一歩を後押しできるような存在になりたい

支援をしてくださった JPNICの皆様
協賛の皆様本当にありがとうございました !!